小学校　高学年　国語　「物語文の読み取り②」

（　　）年（　　）組（　　）番　　名前（　　）

☆ 次の文章を読んで、答えましょう。

小田原・熱海間に軽便鉄道敷設の工事が始まったのは、良平の八つの年だった。良平は毎日村外れへ、その工事を見物に行った。工事を―といったところが、ただトロッコで土を運ぱんする―それがおもしろさに見に行ったのである。

トロッコの上には土工がふたり、土を積んだうしろにたたずんでいる。トロッコは山を下るのだから、人手を借りずに走ってくる。あおるように車台が動いたり、土工のはんてんのすそがひらついたり、細い線路がしなったり―良平はそんなけしきをながめながら、土工になりたいと思うことがある。せめては一度でも土工と一緒に、トロッコへ乗りたいと思うこともある。

トロッコは村外れの平地へ来ると、自然とそこに止まってしまう。と同時に、土工たちは、身軽にトロッコを飛びおりるが早いか、その線路の終点へ車の土をぶちまける。それから、こんどはトロッコを押し押し、もと来た山の方へ登りはじめる。良平はそのとき、乗れないまでも押すことさえできたらと思うのである。

※「トロッコ」　芥川　龍之介

（一）良平がトロッコや土工にあこがれている様子が書いてあります。「土工になりたいと思う」のほかに、二カ所さがして、マスがぴったりうまるように書き出しましょう。